

2024 年度
(第 10 期)
事業計画書

自 2024 年 1 月 1 日

至 2024 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2024年度（第10期）事業計画書

1. 公益目的事業

(1) 助成・褒賞事業（公1）

地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞（定款第4条第1項第1号）「杉浦地域医療振興助成」、「杉浦地域医療振興賞」の第13回の募集・選考・授与を実施します。また、第13回助成・褒賞の授与対象の内容、第12回助成の成果報告を当財団ホームページに公表します。なお、助成対象の研究論文の投稿を支援するため、必要に応じて掲載料の支給等を行います。

A. 第13回杉浦地域医療振興助成を下記要領で募集します。

助成の対象	「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体。
助成の内容	「杉浦地域医療振興助成」として個人・団体に対して助成。 総額 1,000 万円（研究分野 700 万円、活動分野 300 万円を目安） 助成金交付日 2024 年 5 月 31 日
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、応募者の中から選考委員会が選定。 募集期間 2024 年 1 月 1 日～同年 2 月 29 日
その他	2024 年 7 月 11 日に授与式を実施。

B. 第13回杉浦地域医療振興賞を下記要領で募集します。

褒賞の対象	地域医療・福祉振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体。
褒賞の内容	「杉浦地域医療振興賞」として個人・団体を褒賞。 正賞 記念品、副賞 金 200 万円を上限として総額 600 万円
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、自薦・他薦を問わず被推薦者の中から審査委員会が選定。 募集期間 2023 年 10 月 1 日～同年 12 月 31 日
その他	2024 年 7 月 11 日に授与式を実施。

収支予算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	28,660,378	28,090,350	570,028
消耗品費	10,000	10,000	0
印刷製本費	2,910,000	3,000,000	△90,000
その他	2,910,000	3,000,000	△90,000
諸謝金	1,228,500	1,450,000	△221,500
選考委員謝礼	1,228,500	1,450,000	△221,500
支払手数料	1,000	22,500	△21,500
その他	1,000	22,500	△21,500
租税公課	1,116,878	811,850	305,028
給料手当	1,602,000	1,710,000	△108,000
支払助成金	10,000,000	10,000,000	0
支払褒賞金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	45,000	35,000	10,000
会議費	4,078,000	3,796,000	282,000
授与式会議費用	4,078,000	3,796,000	282,000
旅費交通費	1,369,000	1,015,000	354,000
選考委員旅費交通費	219,000	165,000	54,000
授与式参加者旅費交通費	900,000	600,000	300,000
その他	250,000	250,000	0
通信運搬費	300,000	240,000	60,000
経常費用計	28,660,378	28,090,350	570,028
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,660,378	△28,090,350	△570,028
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△28,660,378	△28,090,350	△570,028

経常費用予算は2,866万円で、前年度予算と比較して57万円増加しています。主な増減は以下のとおりです。

- 諸謝金と業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる諸謝金、給料手当の減少（△33万円）
- 前年度実績等を勘案した広告宣伝費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課の増加（+101万円）、印刷製本費、支払手数料の減少（△11万円）

(2) 調査・研究事業（公2）

地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会を東京都を拠点とするオンライン会議形態で年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）開催します。

都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究していきます。

収支予算書（調査・研究事業A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,262,782	2,400,500	△1,137,718
印刷製本費	0	600,000	△600,000
その他	0	600,000	△600,000
諸謝金	165,000	660,000	△495,000
セミナー講師謝礼	0	480,000	△480,000
その他	165,000	180,000	△15,000
租税公課	107,782	83,500	24,282
給料手当	759,000	822,000	△63,000
会議費	27,000	27,000	0
研究会会議費	27,000	27,000	0
旅費交通費	198,000	198,000	0
研究会会員旅費交通費	72,000	72,000	0
その他	126,000	126,000	0
通信運搬費	6,000	10,000	△4,000
経常費用計	1,262,782	2,400,500	△1,137,718
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,262,782	△2,400,500	1,137,718
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,262,782	△2,400,500	1,137,718

経常費用予算は126万円で、前年度予算と比較して114万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）が消費税申告対象となったことから、薬剤師インターネット研修のコンテンツ制作に係るセミナー講師謝礼を同事業に集約したことによる諸謝金の減少（△48万円）
- 諸謝金と業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる諸謝金、給料手当の減少（△8万円）
- 前年度実績等を勘案した印刷製本費、通信運搬費の減少（△60万円）、租税公課の増加（+2万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を東京都を拠点とするオンライン会議形態で年 6 回（2 月、4 月、6 月、8 月、10 月、12 月）開催します。

地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究していきます。

収支予算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,338,682	1,819,920	△481,238
諸謝金	165,000	660,000	△495,000
セミナー講師謝礼	0	480,000	△480,000
その他	165,000	180,000	△15,000
租税公課	114,682	30,720	83,962
給料手当	759,000	822,000	△63,000
会議費	144,000	144,000	0
研究会会議費	144,000	144,000	0
旅費交通費	153,000	153,000	0
研究会会員旅費交通費	63,000	63,000	0
その他	90,000	90,000	0
通信運搬費	3,000	10,200	△7,200
経常費用計	1,338,682	1,819,920	△481,238
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,338,682	△1,819,920	481,238
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,338,682	△1,819,920	481,238

経常費用予算は 134 万円で、前年度予算と比較して 48 万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 講座・セミナー事業（専門家対象）（公 4）が消費税申告対象となったことから、薬剤師インターネット研修のコンテンツ制作に関係するセミナー講師謝礼を同事業に集約したことによる諸謝金の減少（△48 万円）
- 諸謝金と業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる諸謝金、給料手当の減少（△8 万円）
- 前年度実績等を勘案した通信運搬費の減少（△1 万円）、租税公課の増加（+8 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を愛知県で3回程度開催します。

4人に1人が75歳以上となることが予想される2060年、その当事者世代が、個別テーマを徹底的に深掘りし、何が必要なのかを明らかにすることを目的としています。

収支予算書（調査・研究事業C）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,423,712	2,238,800	△815,088
諸謝金	82,500	660,000	△577,500
セミナー講師謝礼	0	480,000	△480,000
その他	82,500	180,000	△97,500
支払手数料	0	4,200	△4,200
その他	0	4,200	△4,200
租税公課	122,412	68,800	53,612
給料手当	759,000	822,000	△63,000
会議費	270,000	288,000	△18,000
研究会会議費	270,000	288,000	△18,000
旅費交通費	180,000	304,000	△124,000
研究会会員旅費交通費	180,000	300,000	△120,000
その他	0	4,000	△4,000
通信運搬費	9,800	91,800	△82,000
経常費用計	1,423,712	2,238,800	△815,088
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,423,712	△2,238,800	815,088
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,423,712	△2,238,800	815,088

経常費用予算は142万円で、前年度予算と比較して82万円減少しています。主な増減は以下のとおりです。

- 外部講師の招聘を行わず、現役世代メンバーで議論を進める形態を前提にした講師に係る諸謝金の削除（△48万円）
- 業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる給料手当の減少（△6万円）
- 開催回数減（6回から3回）等に伴う諸謝金、支払手数料、会議費、旅費交通費、通信運搬費の減少（△33万円）
- 上記を勘案した租税公課の増加（+5万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーを関東・中部・関西の各会場のオンライン中継で4回程度開催します。

年齢を重ねても健やかに暮らしていくのに役立つ講演会を実施します。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,956,019	3,558,699	△602,680
消耗品費	10,000	10,000	0
印刷製本費	910,000	1,337,000	△427,000
その他	910,000	1,337,000	△427,000
諸謝金	0	320,000	△320,000
セミナー講師謝礼	0	320,000	△320,000
租税公課	255,019	169,300	85,719
給料手当	969,000	1,044,000	△75,000
会議費	24,000	8,000	16,000
セミナー会議費用	24,000	8,000	16,000
旅費交通費	188,000	188,000	0
セミナー講師旅費交通費	28,000	28,000	0
その他	160,000	160,000	0
通信運搬費	600,000	150,000	450,000
減価償却費	0	332,399	△332,399
経常費用計	2,956,019	3,558,699	△602,680
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,956,019	△3,558,699	602,680
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,956,019	△3,558,699	602,680

経常費用予算は296万円で、前年度予算と比較して60万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）が消費税申告対象となったことから、薬剤師インターネット研修のコンテンツ制作に係るセミナー講師謝礼を同事業に集約したことによる諸謝金の減少（△32万円）
- 業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる給料手当の減少（△8万円）
- 前年度実績等を勘案した会議費、通信運搬費、租税公課の増加（+55万円）、印刷製本費、減価償却費の減少（△76万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業（定款第4条第1項第3号）

地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修を引き続き実施し、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成を図ります。

受講者は、研修認定薬剤師制度（公益財団法人日本薬剤師研修センターが全薬剤師の研修受講状況を記録し、一定期間内（新規4年以内・更新3年ごと）に所定の単位を取得した薬剤師をその申請に基づき「研修認定薬剤師」に認定する制度）における集合研修の単位を取得することができます。

収支予算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	18,455,600	12,728,000	5,727,600
受取研修会費	18,455,600	12,728,000	5,727,600
経常収益計	18,455,600	12,728,000	5,727,600
(2) 経常費用			
事業費	18,666,260	13,105,950	5,560,310
印刷製本費	2,500,000	2,500,000	0
教材撮影編集費	2,500,000	2,500,000	0
諸謝金	2,377,500	1,500,000	877,500
セミナー講師謝礼	2,377,500	1,500,000	877,500
支払手数料	10,201,000	5,695,000	4,506,000
ID管理費	3,336,000	2,442,000	894,000
日本薬剤師研修センター認定費	3,605,000	505,000	3,100,000
その他	3,260,000	2,748,000	512,000
租税公課	△141,074	△415,300	274,226
給料手当	2,694,000	2,772,000	△78,000
広告宣伝費	30,000	80,000	△50,000
旅費交通費	288,000	288,000	0
セミナー講師旅費交通費	48,000	48,000	0
その他	240,000	240,000	0
通信運搬費	12,000	12,000	0
減価償却費	704,834	674,250	30,584
経常費用計	18,666,260	13,105,950	5,560,310
評価損益等調整前当期経常増減額	△210,660	△377,950	167,290
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△210,660	△377,950	167,290

経常収益予算は1,846万円で、前年度予算と比較して573万円増加しています。これは前年度実績を加味したものです。

また、経常費用予算は1,867万円で、前年度予算と比較して556万円増加しています。主

な増減は以下のとおりです。

- ▶ 当事業が消費税申告対象となったことから、薬剤師インターネット研修のコンテンツ制作に係るセミナー講師謝礼を当事業に集約したことによる諸謝金の増加(+88万円)
- ▶ 業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる給料手当の減少(△8万円)
- ▶ 前年度実績等を勘案した支払手数料、減価償却費、租税公課の増加(+481万円)、広告宣伝費の減少(△5万円)

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、個別の公益事業に属さない収益や費用を各公益事業共通のものとして計上します。

収支予算書（公益事業共通）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,172,328	11,172,338	△10
基本財産受取利息	46,328	46,338	△10
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	24,811,905	27,511,881	△2,699,976
受取寄付金	24,811,905	27,511,881	△2,699,976
経常収益計	35,984,233	38,684,219	△2,699,986
(2) 経常費用			
事業費	132,000	198,000	△66,000
支払手数料	120,000	180,000	△60,000
その他	120,000	180,000	△60,000
租税公課	12,000	18,000	△6,000
経常費用計	132,000	198,000	△66,000
評価損益等調整前当期経常増減額	35,852,233	38,486,219	△2,633,986
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	35,852,233	38,486,219	△2,633,986

経常収益予算は3,598万円で、前年度予算と比較して270万円減少しています。講座・セミナー事業（専門家対象）以外は個別の収益がないため、公益事業共通の収益で各公益事業の費用を賄います。

また、経常費用予算は13万円で、前年度予算と比較して7万円減少しています。これは、前年度実績等を勘案して支払手数料を7万円減少させたことによるものです。

2. 一般事業

本年度の役員会の開催は、以下のとおり計画しています。

時 期	会議名【地 域】	議 題
3月7日	定時評議員会【愛知県】	事業報告・決算承認、評議員選任、理事選任等
	理事会【愛知県】	杉浦地域医療振興賞承認等
7月11日	理事会【東京都】 *助成・褒賞授与式に合わせて開催	業務施行状況報告等
	(臨時評議員会【東京都】) *助成・褒賞授与式に合わせて適宜開催	(上程議題がある場合)
12月5日	理事会【愛知県】	事業計画・収支予算承認、審査委員・諮問委員・ 選考委員選任、業務施行状況報告等

内閣府に対して、2024年3月31日までに2023年度(第9期)事業報告書・決算報告書を含めた定期提出書類、また、2024年12月31日までに2025年度(第11期)事業計画書・収支予算書の提出を行います。

収支予算書（一般事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	13,188,095	19,488,119	△6,300,024
受取寄付金	13,188,095	19,488,119	△6,300,024
雑収益	46,328	46,338	△10
受取利息	46,328	46,338	△10
経常収益計	17,234,423	23,534,457	△6,300,034
(2) 経常費用			
管理費	13,190,490	12,872,858	317,632
役員等報酬	2,000,000	2,950,000	△950,000
評議員報酬	700,000	1,200,000	△500,000
理事報酬	900,000	1,350,000	△450,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	100,000	40,000	60,000
印刷製本費	3,148,400	2,085,000	1,063,400
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	1,084,708	1,025,508	59,200
租税公課	843,582	619,350	224,232
給料手当	2,148,000	2,256,000	△108,000
支払寄付金	300,000	300,000	0
広告宣伝費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ関連費用	1,200,000	1,200,000	0
会議費	425,000	385,000	40,000
旅費交通費	270,000	460,000	△190,000
評議員旅費交通費	60,000	200,000	△140,000
理事旅費交通費	104,000	194,000	△90,000
監事旅費交通費	56,000	56,000	0
職員旅費交通費	50,000	10,000	40,000
通信運搬費	436,800	318,000	118,800
電話料	96,000	97,200	△1,200
その他	340,800	220,800	120,000
減価償却費	554,000	554,000	0
雑費	500,000	500,000	0
その他	500,000	500,000	0
経常費用計	13,190,490	12,872,858	317,632
評価損益等調整前当期経常増減額	4,043,933	10,661,599	△6,617,666
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	4,043,933	10,661,599	△6,617,666

経常収益予算は1,723万円で、前年度予算と比較して630万円減少しています。

また、経常費用予算は1,319万円で、前年度予算と比較して32万円増加しています。主な増減は以下のとおりです。

▶ 役員等の減員(評議員15名から9名、理事11名から8名)に伴う役員等報酬の減少(△95

万円)

- 業務委託契約に基づく職員人件費を消費税抜きの金額で計上したことによる給料手当の減少 (△11 万円)
- 前年度実績等を勘案した消耗品費、印刷製本費、支払手数料、会議費、通信運搬費、租税公課の増加 (+157 万円)、旅費交通費の減少 (△19 万円)

以 上